

8/6 広島での反核反原発デモ

「定期点検中の原発を
再稼働する」



原発再稼働野田内閣

ぶっ飛ばす！

野田内閣が発足
原発再稼働前向き

9/3毎日新聞

再稼働阻止！連続3日間行動へ

再稼働阻止へ全力で行動しよう！

3.11から半年が経とうとしている今、私たちに突きつけられている現実-ひとつは、54基中43基の原発が停止、現在、稼働中はわずか11基であり、来年4月には全ての原発が停止するということである。もう一つは、再稼働を阻止すれば“原発を止める”ことができ、実際に再稼働を阻止しているということだ。

この事態に対して、何がなんでも年内に再稼働の突破口を開こうとしているのが野田内閣だ。はっきりしていることは、再稼働を阻止する道は新首相や民主党政権にはないということだ。全学連大会に参加する学生は『将来の自分の子どもに「誰がこんな世の中にしたの？」と聞かれ「政治家だよ」なんて無責任なことは言いたくない…みんなの少しずつが何か大きなものになる。全学連大会をそのステップに』とアピールを発している。原発再稼働を阻止する力は、私たち自身の行動のみだ。

原発「停止」か「再稼働」をめぐって、この秋の行動が大勝負だ。再稼働阻止の連続3日間行動に立とう！



アルタ前ではオレンジの横断幕（↑）が目印

連続行動初日と2日目はこれ！

全学連第72回定期大会

◆全原発の停止・廃炉！

◆「教育の民営化」と対決し、自治会建設へ！

【日時】9月9日(金)～10日(土)

※9日午前9時半に開会

【会場】9日：文京区民センター

(東京都文京区本郷4-15-14)

10日：浜町区民館

(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

3日目は9.11新宿デモ！！

再稼働阻止全国一斉アクション

アルタ前14時集合

デモコースはこちら



再稼働を許さない！

①子どもの命も未来も破壊する再稼働

3.11から半年が経とうとしているが、事故の収束と放射能被害は悪化の一途をたどっている。とりわけ子どもたちをめぐる状況は深刻だ。「私は何才まで生きるのですか？」—これは福島の子どもたちが文科省の官僚に直接、投げかけた言葉だ。「福島の子どもの45%甲状腺被曝」

(8/18朝日新聞)とも報道されている。「何よりも優先すべきは原発事故の速やかな収束」(野田首相「わが政権構想」)と言っているが、子どもたちの命や未来を一切無視する再稼働だ。

②「安全」「住民の理解」のペテン



「安全性を確保し、住民の理解を得た上での再稼働」。「安全・クリーン」と言われ続け、あの福島原発事故が起きた今、だれがこの言葉を本気にするだろうか。それだけではない。事故以降も、玄海原発でのやらせメール、道民7割反対の中での泊原発営業運転再開。住民存在を一切無視し、ウソとペテンがなければ成り立たない再稼働なのだ。

③「段階的廃炉」＝再稼働容認

再稼働は、青年・学生のあふれる行動を抑えるたものだ。再稼働をめぐって、来年の4月全停止を前にして「今」、この瞬間が焦点なのであり、再稼働阻止の実現も「今」が最大のチャンスなのである。よって野田政権が言う「段階的廃炉」とは、「今は廃炉は無理」＝「再稼働を容認しろ」ということである。だからこそ、私たちは「今」再稼働阻止の行動に立たなければならない。

④命よりもカネ儲け優先の再稼働

「復興」と「事故収束」を最優先課題とする野田氏が、首相になってまず会いに行った相手は経済3団体(経団連/経済同友会/日本商工会議所)だ。さらに「大連立」



9/3経団連会長古賀を訪問

「挙党体制」と見ている方向は、福島の人びとではなく、自民党や民主党内だ。人々が必要とする再稼働ではなく、カネ儲けのための再稼働なのだ。

許せない！これが大学か！？ 原発反対の声を圧殺

法政大学では「原発反対」の声を大学側が暴力的に圧殺。9.11デモの告知ビラ配布も禁止。弾圧を跳ね返しなが、学生が不屈に行動を開始している。

①仁王立ちでビラまき妨害



②卒業/就職を使って脅し



監視・撮影・恫喝……
もう我慢できない！

学生こそが再稼働阻止の先頭へ！

「デモに出たら公務員になれない」「就活にひびくから原発に反対するな」「反原発行動したら単位出さないぞ」こんな言葉が大学内で飛び交う。原発に反対するビラがまけない、原発ネタも友人同士で触れられない……。大学が学生の当たり前の声やストレートな行動を抑えつける場所となり、3.11以降、より一層その締めつけは強化されている。その一方で政府を擁護し、原発を推進、再稼働にお墨付きを与えている場所も大学であり、「御用学者」と言われる教授の存在がある。このような大学のあり方そのものが原発を推進してきたのだ。この大学の現状をぶち破る中にこそ、原発を止める力と現実があり、学生はその主体だ。

私たちに求められていることは、「今」、声をあげることであり、自らを抑えていた大学から大胆に行動を巻き起こしていくことだ。まずは、自分が一歩踏み出すことだ。3.11の状況は私たちにその条件と勇気を与えてくれた。「変わらない、しょうがないという思考停止はもうやめて多くの学生に全学連大会に参加してほしい」(法大2年より)9月9-10日の全学連大会から9.11デモへ！学生が再稼働阻止の先頭に立とう！

全学連

050-3036-6464

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

